

平成 29 年 第 2 回区づくり推進横浜市議員会議（緑区）議事録

開催日時	平成 29 年 6 月 5 日 午後 3 時 00 分 ～ 午後 4 時 10 分
場 所	緑区役所 会議室 3 A
出席者	<p>【座 長】高橋 正治 議員</p> <p>【議員：3 人】齊藤 達也 議員、伊藤 大貴 議員、今野 典人 議員</p> <p>【緑区：30 人】小野崎 信之 区長</p> <p>林 昭宏 副区長</p> <p>小口 秀明 福祉保健センター長</p> <p>豊 基信 福祉保健センター担当部長</p> <p>関戸 義仁 土木事務所長 ほか区関係職員</p>
議 題	<p>1 平成 29 年度 緑区運営方針</p> <p>2 緑区に係る予算のすがた（平成 29 年度一般会計予算）</p> <p>3 平成 29 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況</p>
発言の旨	<p>1 平成 29 年度 緑区運営方針</p> <p>（区長説明）</p> <p>齊藤議員：区長のイメージとして、2 年後の区制 50 周年は、どのように迎 えたいか、そのためにはどういうことをしたいと思っているか。</p> <p>小野崎区長：具体的な事業については、先生方をはじめ区民の皆様と練っ ていきたいが、緑区全体で盛り上がるような内容で、有形、 無形に関わらず後世に残せることができればよいと思っていま す。</p> <p>齊藤議員：今年は準備期間で、来年が実施期間だと思っている。緑区内の 11 連合自治会、企業、団体から、それぞれの立場でいろいろな アイデアが出てくると思う。</p> <p>区役所としては、区民の皆さんに挨拶する機会等で、必ず「区 制 50 周年」と「皆さんで何かやりませんか。」という呼び掛け をすることが必要だ。「再来年が区制 50 周年らしい、どうしよ うか。」という感じが出てくることを期待していきたい。</p> <p>元々緑区だった青葉区と都筑区や分かれた元の港北区など周 辺も巻き込んで、連携プレーや相乗効果で盛り上げてほしい。 栄区や磯子区など各区でユニークな取り組みをしている。ぜひ 柔軟な発想で職員に考えてもらいたい。区民とうまく連携を取 り、何か区長なりのレガシーというものを残していくのが良い。</p> <p>2 緑区に係る予算のすがた（平成 29 年度一般会計予算）</p> <p>（区長説明）</p>

3 平成 29 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況

(副区長説明)

【1 災害に強いまちづくり事業】

伊藤議員：防災マップは、できれば全校で実施できるといいのだが、今年度 8 校にした理由は。

室谷総務課長：平成 28 年度は局の配付予算で実施しました。その実績や新しくやりたいという学校の希望を踏まえ、8 校にしました。希望が増えれば、予算を追加して対応していきたいと思います。

伊藤議員：子どもたちの視点はとても大事で、うまく地域と連携できると、よい防災マップが学校の授業から生まれると思うのだが、今のところそのような計画はないのか。

室谷総務課長：現在は、授業で子どもたちが作った地図を家庭に持ち帰り、親子で防災について話をするきっかけにしていますが、今後は地域に広めていくことについても考えていきます。

【3 交通安全対策事業】

斉藤議員：交通安全対策について、補正予算で対応した効果はどうか。

関戸土木事務所長：平成 28 年度の補正予算と追加の予算とで、1,500 万円を超える予算が付き、大部分は繰り越しをして平成 29 年度に施工する予定です。具体的な箇所数としては、14 校、27 か所で、対策が終わった段階で結果を報告します。

今野議員：自転車の交通ルールの問題は進展していないようだが、どんな取組をしているのか。

三瓶地域振興課長：駅頭でチラシなどを配って啓発をしたり、高校生には学校と連携して登校時に生徒に伝えたり、JR の 4 つの駅の自転車等放置防止推進協議会等、各地区の方たちと一緒に取組を進めています。効果がなかなか出ないのも実情です。道路局とも連携し、長い地道な取組を続けていくしかないと思っています。

今野議員：車道の自転車通行帯に色を付けるとか、いろいろな知恵を出してやっていただきたい。

【4 暮らしの衛生推進事業】

斉藤議員：ペット同行避難訓練は、29 年度はどこでやる予定なのか。

村上生活衛生課長：現在、各拠点で計画を立てている最中です。講師の依頼があれば、訓練に出向き、レクチャーする予定です。

斉藤議員：災害とペットの問題は、切っても切れないので、実績を作って理解を求めていくべきだ。これは重要な案件だ。

村上生活衛生課長：昨年度、三保小学校と新治小学校でペット同行避難の啓発をしましたが、今年はこれを広げていきたいと思っています。

斉藤議員：各学校、拠点では必ずやるという方向で広げてもらいたい。

今野議員：いまだにペットを断る防災拠点があるようだが、アレルギーや鳴き声などの問題については、動物愛護センターの知恵を借りてPRしてほしい。

斉藤議員：地域でハクビシンやアライグマの被害が出ているようだが、区役所に相談は来ているか。

村上生活衛生課長：野生動物被害の相談は、環境創造局が担当し、区役所ではスズメバチなどハチの相談が多数寄せられています。

斉藤議員：どの相談にも、局と連携し適切な対応をお願いしたい。

【5 安全・安心な公園づくり事業】

斉藤議員：飛び出し注意路面標識シートの設置とは、どういう事業か。

松本土木事務所副所長：昨年から、公園の出入口に、子どもにきちんと止まるよう注意喚起をするシートを張っています。

【6 市立保育所の門扉開錠システム設置事業】

今野議員：ICカードによる管理は、良いと思うが、それに頼りすぎるのは危険。入って来る人を確認しなくなるのではないか。

久保田こども家庭支援課長：このシステムの導入後も、防犯カメラを設置しているので画像で確認ができ、事務室の前を通過して中に入って来る時にも確認は取れる状況です。

今野議員：ICカードを通したら信号音が鳴るとか、拾われたICカードでは入れない対策など、いろいろ工夫をお願いしたい。

【10 あんしん子育てネットワーク事業】

斉藤議員：みどり子育て支援者事業はプリマシティでどういうことをするのか。また、スケジュールは。

久保田こども家庭支援課長：子育て経験のある方が、赤ちゃん連れの親子と一緒に遊んだり、相談を受けたりするという事業です。

さまざまな会場で実施していますが、長津田みなみ台地区で子どもが増えているため、新たに区の予算で1か所増設しました。月4回、第1・第3木曜日と第2・第4火曜日にマンションの集会所を借り、赤ちゃん用のマットやおもちゃを用意し実施しています。

斉藤議員：もっと積極的に情報提供してほしい。

プリマシティ以外の人にも来て良いのか。

久保田こども家庭支援課長：自治会と管理組合から了解をいただき開催し

ています。プリマシティ以外の方も来られます。

斉藤議員：それは、自治連合会をはじめ近隣にも広く説明すべきだ。

【12 DV 対策・児童虐待防止啓発事業】

斉藤議員：最近の DV 相談の件数はどうか。

久保田こども家庭支援課長：大きな変動はありません。

斉藤議員：同じことをやっているだけの印象もある。相談するのをためらう方に、きちんと伝わるよう知らせているのか。

久保田こども家庭支援課長：積極的な広報という意味では、改善すべき点もあるかと思えます。県や局と連携しながら、区民の窓口として広報についても検討していきたいと思えます。

斉藤議員：このような相談窓口があることを、区役所はしっかり広報してほしい。所管があるのは十分承知しているが、「とにかく相談してください。私が窓口の出先の責任者です。」という意識で仕事に臨んでもらいたい。

【15 青少年地域サポート事業】

伊藤議員：最近、夜間にバイクで大きな音を出している青少年が増えているようだが、区で何か情報を持っているか。

三瓶地域振興課長：区としては、青少年指導員が中心となって夜間パトロールを行い、バイクに限らず、コンビニにたむろしている子どもたちに声掛けするなどの活動をしてはいますが、バイクの騒音についての情報は来ていません。

【18 福祉保健データ集作成事業】

伊藤議員：今年度から政策局でオープンデータの全庁的なとりまとめ本部ができていますので、緑区としてどう連携していくか、よく相談してやってほしい。他区の例だが、区データを分析することにより、振り込め詐欺の発生しやすいエリアが可視化されたい。そのエリアで重点的に事業を行えば、より効果が上がる。

【21 高齢者あんしんサポート推進事業】

今野議員：徘徊高齢者 SOS ネットワーク推進事業は、具体的には啓発活動だけなのか。

門脇高齢・障害支援課長：サポーター養成を進めていきます。住民だけでなく企業や小中学校にも啓発し、養成講座を受けた所には全国共通ステッカーを貼っていただいて周知し、地域で安心して認知症の方を見守れるよう輪を広げていきたいと考えています。

【24 次世代プロジェクト事業】

斉藤議員：区制 50 周年に向けたプロモーションは、どういう事業か。

大塚区政推進課長：昨年度から、フェイスブックで区民の皆様の写真を使ったカウントダウンや、まずは区役所職員を盛り上げようということで準備ロゴを作ったりしてきました。今年度はその継続に加え、職員プロジェクトなどを募集して、さらにアイデアを出していくとともに、実行委員会の立ち上げにも取り組んでいきますので、それらに必要な経費を執行していきます。

斉藤議員：職員のがんばりが結構大事だ。18万人の区民がどれだけ区制50周年にシンパシーを感じてくれるか。区役所で盛り上がって楽しそうだというのが見えて来ないと、単なるルーチンワークになってしまう。スタートダッシュが大事だ。

【25 みどり！まるごと応援事業】

斉藤議員：庭の紹介をする事業の状況はどうか。

大塚区政推進課長：みどりオープンガーデンとして、フェイスブックを使い、庭を紹介したい方はぜひ応募してくださいと呼び掛けをしています。現在、個人から2件の申し出があり、公園愛護会にも声掛けしています。

斉藤議員：区役所が歩いて紹介したい庭を見つけ、訪問し説得するぐらいでないといけない。これは緑区遺産も同じで、区民からの応募を待っていても指定は増えない。50周年だから50件登録するつもりで、地域に出かける折に、区役所から手続きも併せて積極的に推薦を行うべきだ。

大塚区政推進課長：緑区遺産の候補はいただいているので、大切にさせていただく方を探し、ぜひアプローチしていきたいと思います。

斉藤議員：歴史家の相澤先生からの推薦もあるので、我々も連携して連合自治会長などに声を掛けていく取組を進めていきたい。

【29 子ども達の夢の緑区推進事業】

斉藤議員：区制50周年を迎えるのだから、40周年の時の「夢みどり50プラン」の達成状況をまとめて成果発表したほうが良い。当時の子どもたちから提案してもらったアイデアが、このように息づいていると振り返る機会にしたら、郷土愛が生まれると思うので、力を入れてやってほしい。

【38 みどりスポーツ振興事業】

伊藤議員：トップアスリートとの連携事業について、2020年のオリンピック・パラリンピックで、緑区ゆかりのアスリートがどのくらい活躍する可能性があるか、今から意識しておく必要がある。区を挙げて盛り上げるためには、事前に情報を共有できていること

	<p>が大事だ。</p> <p>【地域のつながりづくり推進事業】</p> <p>斉藤議員：環境未来都市推進事業の地域のつながりづくり推進事業とは、 どのようなものか。</p> <p>大塚区政推進課長：「みどり！まるごと応援事業」の中の「地域のつながり 施設設置事業」で、空き家や空き店舗を無償で借り地域で活用す る場合、こちらの事業で必要な備品等の整備の補助を行い、地域 活動の拠点づくりを加速化していこうとするものです。</p> <p>斉藤議員：具体的に、どこでやるのか。</p> <p>大塚区政推進課長：まだ物件を探している状況ですが、既に三保から相談 をいただいています。</p>
<p>備 考</p>	<p>(資料)</p> <p>平成 29 年第 2 回区づくり推進横浜市議員会議（緑区）次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成 29 年度 緑区運営方針 2 緑区に係る予算のすがた（平成 29 年度一般会計予算） 3 平成 29 年度 個性ある区づくり推進費 執行状況